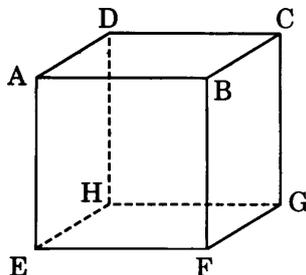


5-2. 空間図形の求積(長さ・面積・体積・角度ほか) 【2002年度出題】

【問1】

図のように、1辺が1 cm の立方体があります。頂点 A から出発して、すべての頂点を1回ずつ通って頂点 A にもどるとき、その最短の距離を求めなさい。

(北海道 2002 年度)



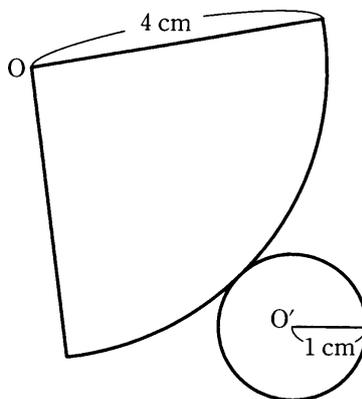
解答欄

cm

【問2】

図は円すいの展開図で、底面の半径は1 cm、側面の半径は4 cm である。これを組み立ててできる円すいの体積を求めなさい。ただし、円周率は π とする。

(青森県 2002 年度)



解答欄

cm³

【問3】

図1のような、四角すい $O-ABCD$ の容器がある。上の面の四角形 $ABCD$ は1辺の長さが 6 cm の正方形であり、4つの側面はすべて O から対辺に引いた垂線の長さが 9 cm の二等辺三角形である。このとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

(福島県 2002 年度)

図1

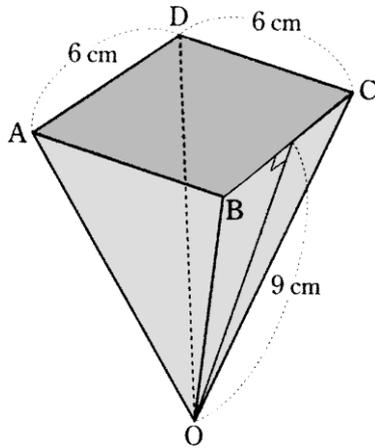
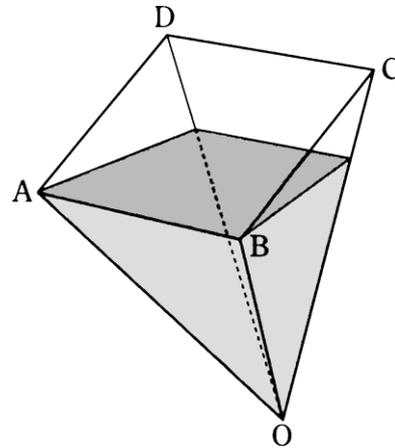


図2



(1) この容器に水が満たされているとき、頂点 O から水面までの高さを求めなさい。(図1)

(2) AB を水平にしたままこの容器をゆっくりと傾け、側面 OCD が水面に対して垂直になるまで水を流し出した。(図2) このとき、頂点 O から水面までの高さを求めなさい。

(3) (2)において、水面が作る図形の面積を求めなさい。

解答欄

(1)	cm
(2)	cm
(3)	cm ²

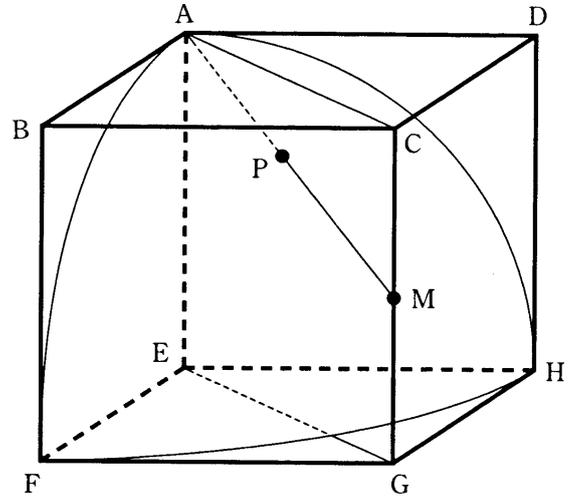
【問4】

図のように、1辺の長さが 4 cm の立方体 ABCDEFGH があり、その内部に、点 E を中心とする半径 4 cm の球の $\frac{1}{8}$ の部分が入っている。辺 CG の中点を M とし、点 A と点 M とを結ぶ。線分 AM と球の表面との交点で、A 以外の点を P とする。このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(茨城県 2002 年度)

(1) 四角形 AEGC の面積を求めなさい。

(2) 線分 AP の長さを求めなさい。



解答欄

(1)	cm ²
(2)	cm

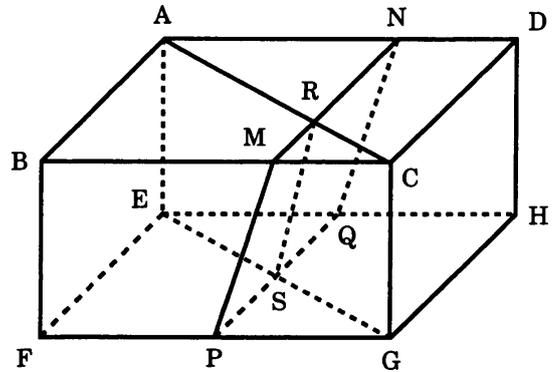
【問6】

図のように、 $AB=3\text{ cm}$ 、 $AD=6\text{ cm}$ 、 $AE=3\text{ cm}$ の直方体 $ABCD-EFGH$ がある。辺 BC 、 AD をそれぞれ $2:1$ に分ける点を M 、 N とし、辺 FG 、 EH の中点を、それぞれ P 、 Q とする。対角線 AC と線分 MN の交点を R 、対角線 EG と線分 PQ の交点を S とするとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(新潟県 2002 年度)

(1) 線分 MR の長さを求めなさい。

(2) 立体 $MCR-PGS$ の体積を求めなさい。



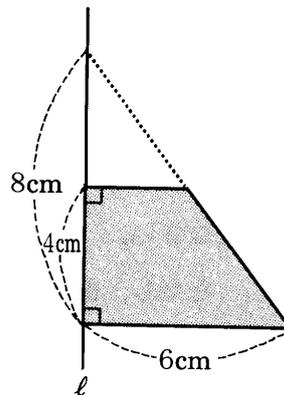
解答欄

(1)	cm
(2)	cm ³

【問7】

図は、底辺 6 cm 、高さ 8 cm の直角三角形を高さの $\frac{1}{2}$ のところで切り取ってできた台形である。この台形を、直線 ℓ を軸として1回転したときにできる立体の体積を求めなさい。(ただし、円周率は π とする。)

(富山県 2002 年度)



解答欄

cm ³

【問8】

図の P, Q, R は, 次のような立体である。

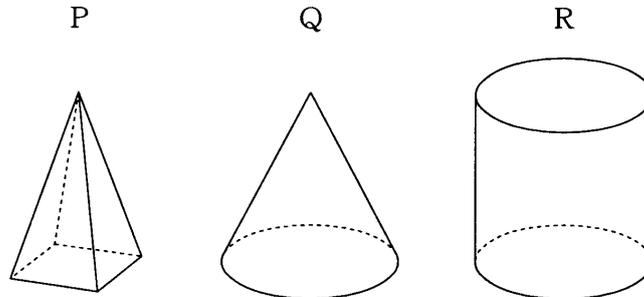
P 底面の正方形の1辺が r cm, 高さが h cm の正四角すい

Q 底面の半径が r cm, 高さが h cm の円すい

R 底面の半径が r cm, 高さが h cm の円柱

このとき, 次の問いに答えよ。

(福井県 2002 年度)



(1) P と Q の体積はどちらが大きいか。また, その理由も述べよ。

(2) 底面の半径 r を 10 cm としたとき, Q と R の体積の和が半径 10 cm の球の体積と等しくなるような高さ h を求めよ。

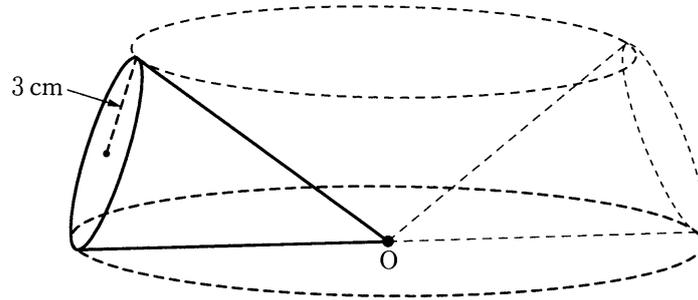
解答欄

	<input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/>	の方が体積は大きい。
(1)	(理由)	
(2)	cm	

【問9】

図のように、底面の半径が 3 cm の円すいを、頂点 O を固定して、すべらないように水平な机の上を同じ方向に転がしたところ、円すいはちょうど3回転して元の位置にもどった。このとき、次の(1)~(3)に答えなさい。

(山梨県 2002 年度)



(1) この円すいの母線の長さを求めなさい。

(2) この円すいの表面積を求めなさい。

(3) このように、円すいを元の位置にもどるまで転がしたとき、円すいが通ったあとにできる立体を考える。この立体を容器にして、上から水をいっぱい注ぐとき、容器に入る水の体積を求めなさい。

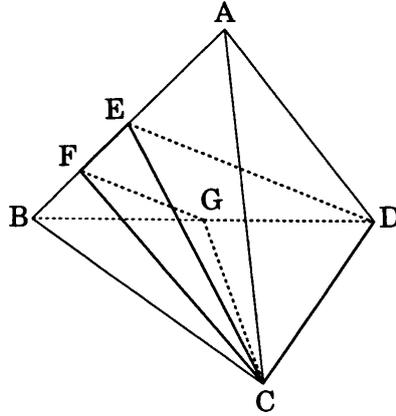
解答欄

(1)	cm
(2)	cm ²
(3)	cm ³

【問 10】

図は、A, B, C, D を頂点とする正四面体である。E, F は辺 AB 上の点で、 $AE=2EF=2FB$ であり、G は辺 BD の中点である。E, F, C, D, G を頂点とする立体の体積は、正四面体 ABCD の体積の何倍か。

(愛知県 A 2002 年度)



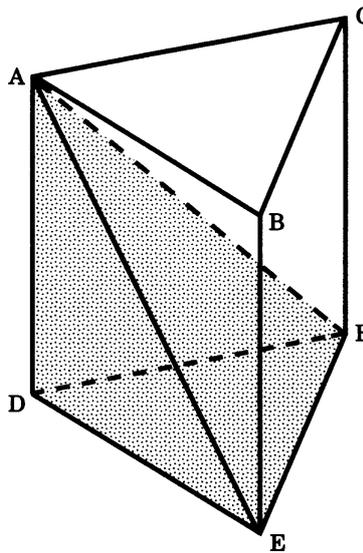
解答欄

倍

【問 11】

図は、すべての辺の長さが 6 cm の三角柱 ABCDEF である。この三角柱を3点 A, E, F を通る平面で切って2つの立体に分けると、その2つの立体の表面積の差はどれだけか、求めなさい。

(三重県 2002 年度)



解答欄

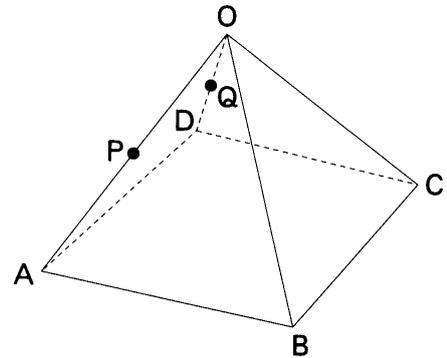
cm ²

【問 12】

図のように、底面が正方形、側面が正三角形で、 $AB=4\text{ cm}$ の正四角すい $O-ABCD$ がある。また、辺 OA 、 OD の中点をそれぞれ P 、 Q とする。このとき、次の問い(1)・(2)に答えよ。

(京都府 2002 年度)

(1) 底面の対角線 AC の長さを求めよ。



(2) 四角形 $PBCQ$ の面積を求めよ。

解答欄

(1)	$AC=$	cm
(2)		cm^2

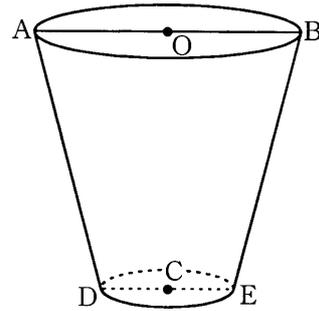
【問 13】

図 I のようなコップがある。このコップは、円すいを底面に平行な平面で切つてできる二つの立体のうち、頂点をふくまない方の立体の形をしている。図 I において、 O はコップの口がつくる円の中心であり、 C はコップの底がつくる円の中心である。2 点 O, C を通る直線 OC は円 O をふくむ平面に垂直である。線分 AB, DE はそれぞれ円 O, C の直径であり、 $AB \parallel DE$ である。 $OA=4\text{cm}$ 、 $CD=2\text{cm}$ であり、2 点 O, C 間の距離は 8cm である。コップの厚みは考えないものとする。円周率を π として、次の問いに答えなさい。答えが無理数になる場合は、無理数のままでよい。

(大阪府 一般 2002 年度)

(1) 円 O の面積は円 C の面積の何倍ですか。

図 I

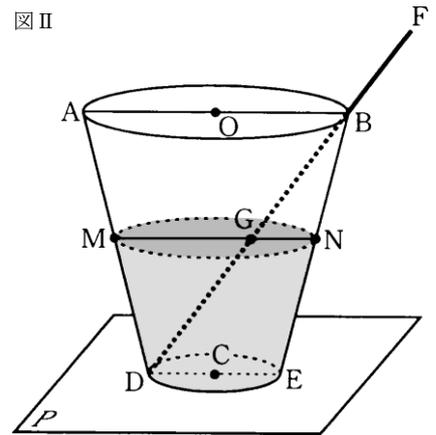


(2) 図 II は、図 I のコップを水平な平面 P に底が接するように置き、その中にコップの高さの $\frac{1}{2}$ 倍の高さまで水を入れ、さらに、細いかき混ぜ棒をその一端が D の位置にくるようにして入れたときの状態を示している。

水面は水平な平面であるとし、かき混ぜ棒の太さは考えないものとする。

図 II において、 M, N はそれぞれ線分 AD, BE の中点であり、線分 MN は水面がつくる円の直径である。線分 DF はかき混ぜ棒を表している。線分 DF は B を通っており、 $DF=13\text{cm}$ である。 G は線分 MN と線分 DF との交点である。

図 II

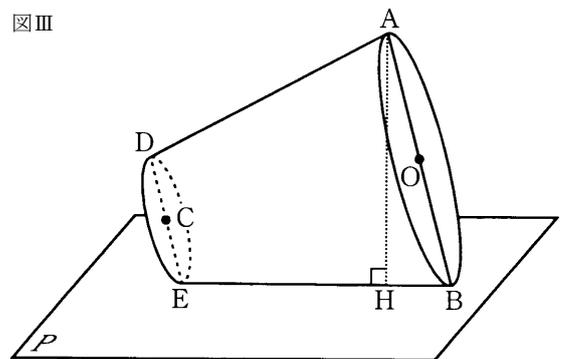


① 線分 BF の長さ と 線分 DG の長さをそれぞれ求めなさい。

② コップ内の水の体積を求めなさい。求め方も書くこと。

(3) 図 III は、図 I のコップを水平な平面 P に線分 BE が接するように横にして置いたときの状態を示している。図 III において、平面 $ADEB$ は平面 P に垂直であり、 H は A から線分 BE にひいた垂線と線分 BE との交点である。点 A と平面 P との距離を表す線分 AH の長さを求めなさい。

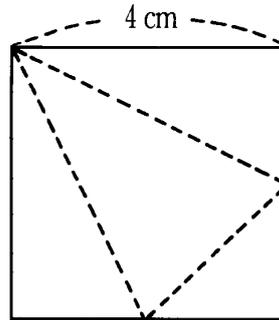
図 III



【問 14】

ある三角錐を展開すると、図のように1辺の長さが 4 cm の正方形になった。この三角錐の体積は、 cm³ である。

(岡山県 2002 年度)

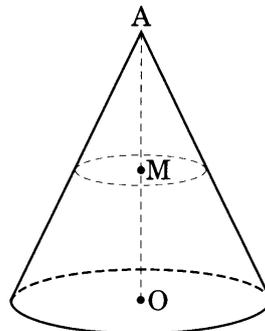


解答欄

【問 15】

図のように、底面の半径が 4 cm、高さが 9 cm の円錐がある。この円錐を、頂点 A から底面の中心 O にひいた線分の midpoint M を通り、底面に平行な平面で切って2つの立体に分けるとする。このとき、2つの立体のうち大きい方の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とする。

(徳島県 2002 年度)

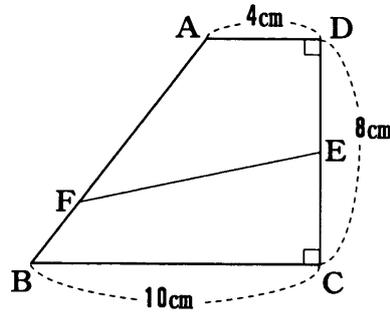


解答欄

【問 16】

図のような、 $AD \parallel BC$ の台形 $ABCD$ があり $\angle ADC = 90^\circ$, $\angle BCD = 90^\circ$, $AD = 4 \text{ cm}$, $BC = 10 \text{ cm}$, $CD = 8 \text{ cm}$ で、点 E は辺 CD の中点である。点 F は、辺 AB 上の点で、点 F と点 E を結ぶ線分 FE が、台形 $ABCD$ の面積を2等分している。このとき、線分 FA の長さは線分 FB の長さの何倍か。

(香川県 2002 年度)



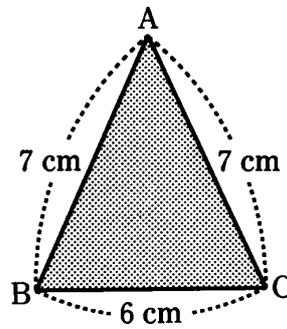
解答欄

倍

【問 17】

図のような、 $AB = AC = 7 \text{ cm}$, $BC = 6 \text{ cm}$ の $\triangle ABC$ がある。辺 BC を軸として、 $\triangle ABC$ を1回転させてできる立体の体積を求めよ。(円周率は π を用いること。)

(愛媛県 2002 年度)



解答欄

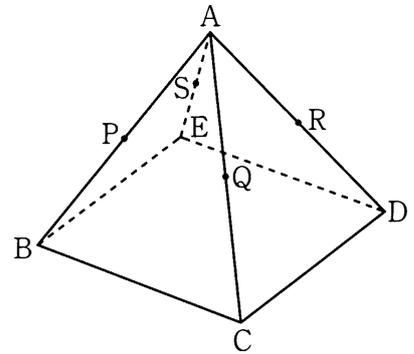
cm^3

【問 18】

図は、すべての辺の長さが 8 cm の正四角すい $A-BCDE$ であり、辺 AB, AC, AD, AE の中点をそれぞれ P, Q, R, S とする。このとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

(高知県 2002 年度)

(1) 線分 PR の長さを求めよ。



(2) 正四角すい $A-BCDE$ の体積は、正四角すい $A-PQRS$ の体積の何倍か。

(3) 正四角すい $A-BCDE$ を4点 P, Q, D, E を通る平面で切るとき、その切り口の面積を求めよ。

解答欄

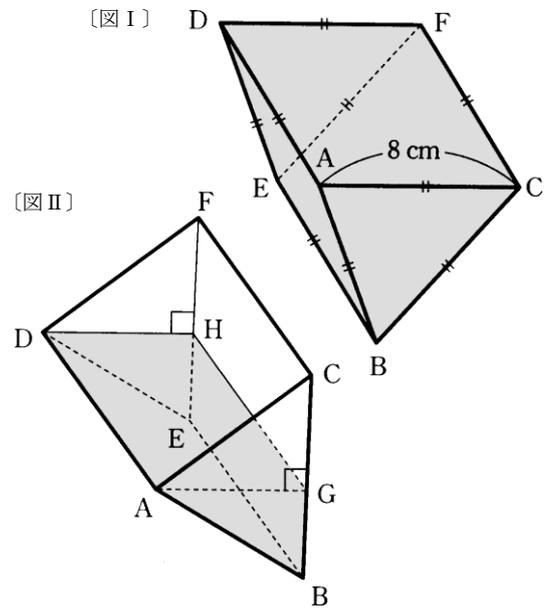
(1)	cm
(2)	倍
(3)	cm ²

【問 19】

〔図 I〕のように、面 ABED, CBEF, ACFD が正方形で、各辺の長さがすべて 8 cm の容器がある。この容器に水を満たし、〔図 II〕のように面 CBEF が水面 AGHD と垂直になるまで傾ける。次の①, ②の問いに答えなさい。

(大分県 2002 年度)

① 〔図 II〕の状態のとき、水面 AGHD の面積を求めなさい。



② 残った水の体積を求めなさい。

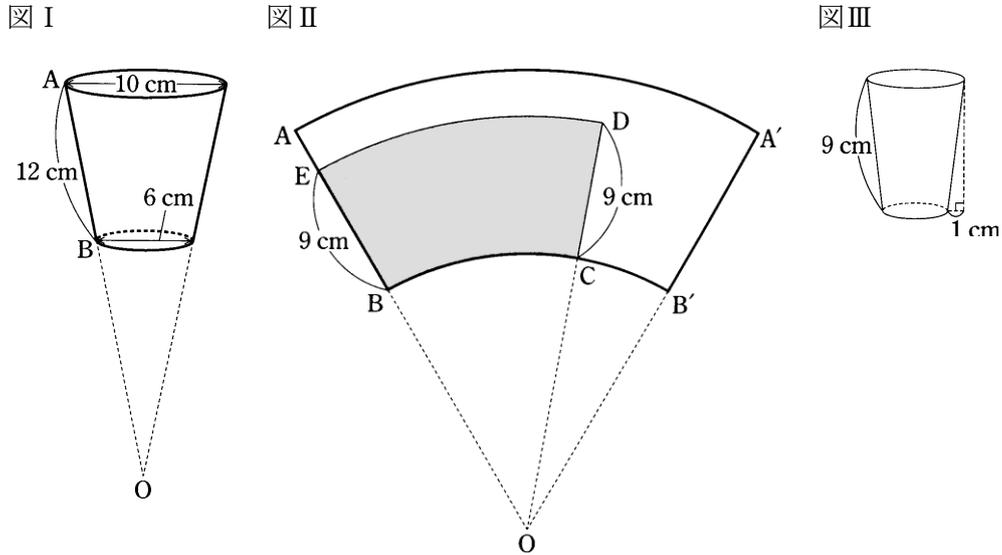
解答欄

①	cm ²
②	cm ³

【問 21】

図 I のような紙コップがあり、点 A, B はそれぞれ口の部分、底の部分の円周上の点である。この紙コップの側面は、図 I のように点 O を頂点とする円すいの側面の一部になっており、点 B は母線 OA 上にある。この紙コップの口の部分、底の部分の直径はそれぞれ 10 cm, 6 cm であり、また、 $AB=12$ cm である。このとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。ただし円周率は π とし紙の厚さや紙コップの変形は考えないものとする。

(宮崎県 2002 年度)



(1) 図 I の紙コップを水平な床において、深さ $\frac{2}{3}$ のところまで水を入れたとき、水面の円の直径を求めなさい。

(2) 図 I の母線 OA の長さを求めなさい。

(3) 図 II のように、図 I の紙コップの側面を展開した $ABB'A'$ に、 \square 部分 EBCD を、下に示す【条件】をみたすように作図する。次に、この \square 部分を切り取り、線分 EB と DC を重ねて、新しい紙コップの側面をつくる。図 III は、新しくできあがった紙コップである。

【条件】

- ① \widehat{ED} は、おうぎ形 OED の弧である。
- ② $EB=DC=9$ cm とする。
- ③ \square 部分の線分 EB と DC を重ねたものが側面となる紙コップは、口の部分の円の半径が、底の部分の円の半径より 1 cm 長い。

このとき、次のア、イの問いに答えなさい。

ア. \square 部分 EBCD の面積を求めなさい。

イ. 図 III の紙コップの容積を求めなさい。

解答欄

(1)		cm
(2)	OA=	cm
(3)	ア	cm ²
	イ	cm ³